

課題研究プロジェクト B

「地域・学校ごとに発展してきた話し合い活動実践手法の定性的比較研究—相違点・共通点の分析から特別活動の本質を探究する—」

課題研究プロジェクトの概要：

各地域や学校ごとに異なる「話し合い活動」の実践方法の差異に着目し、実践者本人または第三者による実践記録、参与観察を含む観察記録、ナラティブ分析を含む面接調査などの定性的調査を基盤として、特別活動実践の意義と実態を分析していくことを目的とする。これまでの実践研究等を通じて、地域や学校独自に発展してきた多様な話し合いの「手法（形式）」が紹介されてきたが、これまでその相違を比較したり考察したりすることがなかった。そのため、本研究プロジェクトを通じて、これらの実践の差異を明らかにしたり、共通する理念や視点を抽出したりしていくことによって、各実践方法の持つ特徴や意義を明らかにしていくとともに、その本質を探っていくこととする。

課題研究プロジェクトの成果目標：

地域・学校で独自に発展してきた、話し合い活動の様々な手法・形式を整理し、各実践の特徴や意義、または相違点や共通点をまとめる。また、それを研究レベルにとどめることなく、現場で活用できるようにしていく。

課題研究プロジェクトのおおよそのタイムスケジュール：

原則として研究推進委員会開催日と同日の午前または午後

9月、11月、3月、5月

研究会の頻度：年4回程度

研究会の開催地として頻度が高いと思われる地方名：東京